

優秀賞

## 福留一ろう様

鹿児島県 伊佐市立大口東小学校三年 福留 康生

お父さん、天国で元気にすごしていますか。毎日あつい日がつづきますが、そちらはどうですか。ぼくは、毎日、元気にすごしています。お母さんは、いつもがんばっているけど、のどがいたいそうです。

ぼくは、三年生になって一番がんばっていた水泳で、二十五メートル泳げるようになりました。一、二年生のころは、顔も水につけられませんでした。でも三年生になったら大プールになるし、遠泳大会もあるから、がんばろうと思ったんだよ。初めて大プールに入ったら、深くて、とくに真ん中はぼくの目に水が入っておぼれそうでした。でも、泳げるようになりました。先生にこつを教えてくださいました。先生に

「足をのばすようにがんばって。」と、よく言われたので、なんどもバタ足の練習をしました。でも、うまくできませんでした。じゅぎょ

うだけではなくて、お母さんといっしょにプールに行って練習しました。そして、さいごの水泳学習のときに、二十五メートル初めて泳げました。次の日には、しょうじょうがもらえてうれしかったです。あきらめずに水泳の練習をしてよかったなあと思っ  
たよ。

ぼくがほいく園にかよっていたころ、お父さんがいっしょにたたかいごっこをしてくれたのを、今でもおぼえています。お父さんがずっとガードばかりしていてもしろかったなあ。たたかいごっこで使った新聞紙でできたけんも、お父さんといっしょに作ったね。ぼくのために、りょう理を作ってくれたことも、おぼえています。よくたまごやきを作ってくれたね。お父さんとお母さんが作るたまごやきは、味が全くちがいました。おかあさんが作るたまごやきもおいしいけど、たまにお父さんの作るたまごや

きも食べたくなります。お父さんは、よくかたぐるまもしてくれたね。高いところのって、風がきたから気持ちよかったなあ。またかたぐるまをしてほしいなあ。でも、ほいく園のころとくらべて、しんちようが高くなって、体重が重くなったぼくを、かたぐるままでできるかな。ちょっと心配です。

お父さんが天国にいて二年いじょうたったけど、お父さんとの思い出を、ぼくはまだおぼえています。お父さんのことを思い出すと、うれしい気分になります。ぼくと遊んでくれたり、りよう理を作ってくれたり、おもちゃを買ってくれたり、たくさんのことをしてくれてありがとう。今でもかんしゃをしています。

ぼくは今、しょうらいお母さんのように学どうではたらかいたいと思っています。お父さんも、ぼくのことを天国からみまもっててください。これから、天国で元気にしててね。

